

目次

いざ、
靈性の時代へ

～日本が導くアセンションへの道～

はじめに — いよいよ時代はパラダイムシフトを迎える 3

第二章 宇宙の根源は愛 〈ミロクの夜明けは日本から〉……………15

日月神示が告げるミロク五六七の世の到来 17

全ての存在に命がある 19

霊性と科学 24

永井隆博士の言葉 34

霊性の時代の幕開け 41

第二章 愛が導く地球の次元上昇 〈いよいよ魂の総決算のとき〉……………47

宇宙には善も悪もない 49

陰陽相和す心 54

覇権主義派と自然主義派の相克

57

第三章 失われゆく日本の心 ～跋扈する覇権主義の魔物～……………71

あるユダヤ人の懺悔

73

国際銀行家と明治維新

76

踏み付けにされた道徳観と倫理観

83

国際銀行家による欧州王室打倒

86

日本を大東亜戦争に駆り立てたもの

89

教育破壊による歴史と神話の抹殺

97

占領は今も続く

103

闘争本能剥き出しの獣への道

106

コラム —— 心霊現象の科学的探究…………… 115

心霊研究発足の日…………… 116

フォックス家事件とは？…………… 118

フォックス家事件の衝撃…………… 124

英国への広がり…………… 126

S P R (心霊研究協会) の設立とその後…………… 130

第四章 翳りゆく国際銀行家の栄華 (迫りくる経済大激震) …………… 137

世界支配戦略の綻び…………… 139

絶望からの反抗…………… 143

ミツバチと種を守れ…………… 153

春雷の響き 日本でさらなる反抗が始まる…………… 161

第五章 愛に溢れた社会の実現へ 〔ベーシック・インカムを考える〕 …… 165

新型コロナウィルスと日本人 167

自由な感性が未来を拓く 179

シユタイナーのベーシック・インカム構想

〔愛の循環が新たな社会を創出する〕 184

八紘一字とは 194

第六章 日本人の神力が世界を変える

〔二〇二〇年は弥勒の世の幕開け〕 …… 199

長崎・福島からの光 201

アメリカ先住民の叡智が蘇る 〔地球のケア・テイカー〕 206

愛のホルモン オキシトシンの科学 216

神力と学力 220

今年は時代大変換の節目

228

桃太郎が示す日本人の役割

236

第七章

コロナが新たな時代を拓く

5
6
7
から五六七へ

245

霊性の目覚め

247

コロナによる社会の建て替え

256

おわりに

265

イラスト／コウ